



## 理事長のごあいさつ



理事長：中川原章

(なかがわら あきら)

平成27年の新年を迎えて

平成27年ひつじ歳の新年を迎えました。

「好生館」設立181年目、そして、「好生館」の生みの親である第10代佐賀藩主・鍋島直正公ご生誕201周年の新春となります。

いみじくも昨年12月13日に、好生館創始180周年記念式典を催しました。この式典で明らかになったことは、好生館は事実上、わが国における西洋医学導入の起始点、すなわち曙となった所だということでした。当時の好生館から輩出した多くの佐賀藩医師が全国に西洋医学の重要性を広め、佐倉順天堂初代校長の相良知安、江戸種痘所を開設した伊東玄朴は、共に現在の東京大学の創始

者となっています。

この好生館は、平成22年4月に地方独立行政法人化され、これから、超少子高齢化と人口減少社会となったわが国において、佐賀県が抱える医療・福祉の難しい課題に、正面から取り組んでいくこととなります。そして、平成27年は、好生館としてその具体的な一歩を踏み出す重要な年になると位置づけています。

歴史ある好生館の使命は、一にも二にも、佐賀県民の健康を守り、より良い生き甲斐を感じることでできる社会作りをするためにあると考えています。つまり、県民と共に、県民のための医療・福祉向上に邁進することであり、そのためには世界に羽ばたいて我々自身が研鑽することが大切です。

このことを職員すべてと共有し、新年の抱負と致します。

平成27年1月